

## 第1回（仮称）愛知県海岸保全基本計画検討委員会 議事要旨

日 時：令和5年3月30日（木）  
15時00分～17時00分  
場 所：ウイंकあいち  
（WEB 併用）

### 1. 議題

1. 開会
2. 議題
  - ・愛知県海岸保全基本計画検討委員会の設置について
  - ・海岸保全基本計画とは
  - ・現行基本計画とこれまでの取組
  - ・今回、計画変更が必要となった経緯
  - ・技術部会の検討状況
  - ・具体的な変更の方向性
3. 閉会

### 2. 配布資料

- ・資料1：愛知県海岸保全基本計画検討委員会規約（案）
- ・資料2：第1回愛知県海岸保全基本計画検討委員会資料

### 3. 質疑応答

#### 【委員】

海岸堤防の耐震化対策の進捗率に差が出ている。気候変動を考慮した新たな計画では、効果的な保全整備をするため、未整備区間が多く残っている状況を踏まえて、整備が進むように配慮をお願いしたい。

#### 【事務局】

現在の施設整備状況を踏まえて、整備方針を設定していく予定である。

#### 【委員】

表浜海岸は海岸に下りる道路のところが削れているため、サーフィンで通る道が通れなくなっている。また、砂浜は海面上昇により狭くなっているように思う。浜だけでなく、その背後の道路などの施設にも配慮してほしい。

#### 【委員】

コンクリートの耐用年数は50年と想定しているが、老朽化の度合いを考慮しているのか？このエリアは企業集積が高い港湾地域も多いが、サプライチェーンで重要な港湾施設と背後圏にある道路の耐震化などは、一体的に検討しているのか？また、大型台風などが来る際には船舶の避難は想定しているのか？

#### 【事務局】

耐用年数の50年は一般的な値のため増減はある。将来の施設の状況を想定するのは難しいため、一般的な値を念頭に検討する。港湾のサプライチェーンに関しては、岸壁、道路、海岸の対策を進め、エリアで耐震化を図っていく。船舶の安全・避難の検討は別途港湾BCPでおこなっている。

#### 【委員】

老朽化対策については長寿命化の委員会で別途取り組んでいる。メンテナンスすれば50年

以上持つと思われる。

**【委員】**

環境との調和に関して、予測が難しいため、技術部会で出た結果に対して、プラス何か対策をすれば OK という話ではないように思う。対策をした後の環境評価等はおこなっていくのか？

**【事務局】**

施設を整備すると、環境面へのマイナス面が出てくる。まずは、防災面に対して必要な対策を検討したうえで、そのインパクトに対する環境への配慮を考える。

**【委員】**

そうだろうと思う。モニタリングをずっとやるのは難しい。アカウミガメの影響を調べようと思うと、表浜だけでなく広い範囲での調査が必要で、一部の範囲のモニタリングだけでは解決しない。きちんと調査しようと思うと大変であるが、何もやらないわけにもいかない。海岸保全基本計画だけのおさまらない話だと思う。台風で流された流木を撤去しているが、自然環境では流木は発生しているはずなので、どこまで撤去するのが自然なのかわからない。海だけでなく、海・川・山がつながったものとして少しでも盛り込めればと思う。

**【事務局】**

関係機関との連携を検討する。すべてに満足できる形にはならないと思うが、少しでも考えていきたい。

**【委員】**

技術部会の委員は、環境にも意識が高いので、そこに配慮して検討をする。

**【委員】**

表浜で海上風力発電をおこなう計画がある。また、西ノ浜では砂浜に風車を建てようとしており、影響がある可能性がある。親しむほうの利用ではなく、このような違うほうからの利用も進められている。これが勝手に進められては困ると心配している。

**【事務局】**

海岸管理者として、いろいろな協議の中で関係機関と話をする必要がある。風力発電だけでなく、太陽光パネルの設置や流木をバイオマスの材料にする話もあるかもしれない。海岸管理者は、海岸保全区域が管理の管轄になるので、許可基準をある程度整理しておくのも一つの方向性だと思う。

**【委員】**

この検討会に環境系の機関が入っていない。横の連携をとってほしい。

**【事務局】**

環境部局に加え、経済産業部局もかかわっている。対応していきたい。

**【委員】**

東海道の松並木の遺伝子解析をすると、元々はミカワクロマツが植えられていたが、今は普通の松も混成している。松枯れしやすいのは、普通の松で、地域固有の松は枯れにくい。元々その地域にあった松を植林するのが景観的にも環境的にも良いと思う。

**【委員】**

海岸協力団体として、表浜で活動しているが、砂浜が変化している。地元ヒアリングしたところ、城下と赤沢の砂浜が回復した理由は、久美原に潜堤が入ったからだと言った認識をしているかたもいる。地元への施設整備の物理的な効果をより正確に伝える必要があるのではないか。

**【事務局】**

継続的にモニタリングしているので、効果を把握する。気候変動を踏まえて、どうなっていくかの予測を検討する。地元への説明が足りないことについては、ご意見として承る。

**【委員】**

施設整備の物理的な効果の説明は、学識者も責任を担っていると思う。

**【委員】**

地元の方は、県が思っている以上に理解できていないので、繰り返したり、わかりやすく地元で説明にする必要がある。わからないから余計不安になるのであって、実施している対策は正しいと思う。また、環境に関して、三河港の港湾計画では開発と環境とで相入れないところがでてきている。どちらも満足するのは難しいので、両方の意見交換をするのが大事。また、資料の P50 の具体的な変更点について、現状は変更しないことになっているが、現状は変わっているので、変化があるなら更新したほうが望ましいと思う。

**【事務局】**

三河・伊勢湾で現状を書いていないのは、紙面の都合で省略している。両沿岸ともに時点更新をおこなう予定である。

**【委員】**

表浜海岸の現状は変化している。みんなで海岸を視察する場を設けたらどうか。

**【事務局】**

検討する。

**【委員】**

西ノ浜の砂浜が激減している。ぜひ現状を見てほしい。

**【委員】**

海岸の自然環境は、観光資源としても大変重要である。伊良湖周辺の海岸はもとよりや知多半島の砂浜についても小さくなるなど激変しており、訪れた観光客はその変化に違和感を感じて、砂浜の再生をしないのかと質問を受けることもある。住民だけでなく、観光客に対しても海岸整備対策状況がわかるように掲示板等で伝えることをお願いしたい。

**【委員】**

オリンピックの影響もあり、子供がサーフィンを始めている。海岸整備に加え、避難経路も検討してほしい。

**【事務局】**

ソフト対策との連携も考えていく。

**【委員】**

県管理の漁港は整備が進んでいるが、市町は予算の関係でなかなか進まない。県から支援をお願いしたい。黒潮が今まで見られない流れになっている。それが砂の流れに影響している感じがするため、調査したほうがいいかもしれない。伊勢湾の中は、黒潮の影響で計算よりも実測の潮位が高くなっていると思うので、そのことを考慮して堤防の高さを考えたほうがいいかもしれない。

**【事務局】**

黒潮の影響などは技術部会で評価していく。

**【委員】**

ハードの整備は時間がかかる。そのため、ソフトとハードの安全対策を進める必要がある。P38 の右下の図の色分けは例えば土砂法のレッドゾーン、イエローゾーンのような表現か？また、町内に 5 つの海水浴場があるが部分的にやせてきたところがある。モニタリングをして変

化があった場合には潜堤等の対策は盛り込まれるのか？

**【事務局】**

P38 の赤とかオレンジは、土砂法でいうところのレッドゾーン。愛知県では何の規制もかからないイエローゾーンしかないが法律上存在する。予測とモニタリングをしっかりと事前に対応していくというのが基本の考えになる。モニタリングの重要性は今回位置づけることを想定している。

**【委員補足】**

レッドゾーンの指定は、ほとんどの自治体が躊躇されているようだが、一部では積極的に指定しているところもあると聞いている。そういったところがどういう状況か調査していただくと今後指定の際の参考になるかと思う。

**【事務局】**

把握している範囲では、レッドゾーンの指定までやっているのは静岡県のみで、1つの市町だけだったはずである。そのあたりの状況も説明できるようにしたい。

**【委員】**

去年9月の台風15号による流木の対応を、本市と県で連携させてもらって、災害復旧の採択から撤去の完了まで年度内に進めることができた。まず愛知県に多大なる御支援を賜ったことを御礼申し上げたい。また、今日の資料全体、今後の改定の方向性については、この方向で良いが、かなり大きな外力をベースとして計画をつくって施設整備ということになってくると、相当な時間とか費用がかかってくると容易に想像できる。本市も海岸管理者として、財政的なことが心配である。配慮をお願いしたい。

**【委員】**

去年は潮位が高い日が多く、水門を閉めるのが間に合わず浸水したことがあった。自動化がすすめられているが、対象となる水門は津波到達まで60分までとなっており、該当箇所は80分程度のため自動化ができないということだった。県内の海岸の水門は遠隔操作化や自動化をお願いしたい。

**【事務局】**

ご意見承った。どう対応するか検討して参りたい。

**【委員】**

表浜の工事について、表浜の砂浜が現在どういう状況で、どの様に砂浜を再生する工事しているのか、地域住民あるいはこの委員会の方達にも、説明されたほうが良いと思う。観光協会の方は、観光資源である表浜海岸の全体を見て頂きたい。

**【事務局】**

わかりやすく説明することについて、承知した。

**【委員】**

頂いた意見のいくつかは、技術部会で検討する内容である。私も技術部会の一員としてしっかり検討させていただく。

以上